

安全・安心な施設

環境保全には万全な対策を行い安全を最優先し、持続可能な災害に強い強靱な施設整備を図ります。

地域に愛され 地域に開かれた施設

施設外観は周辺との調和を図り、環境学習機能等の整備など、地域に親しまれる施設整備を図ります。

地域に 貢献する施設

ごみ焼却時の余熱を利用した発電や温水を周辺の施設で活用することにより、地域への貢献を図ります。

令和14年度 鳥取県西部に 新しいごみ処理施設が 誕生します

地域を守る施設

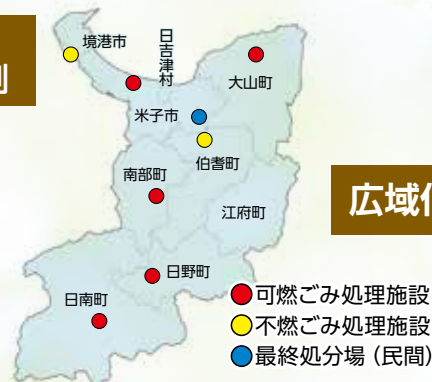
災害時の避難場所としての整備を図り、防災拠点として位置付けるなど、地域を守る施設整備を図ります。

コスト削減に 貢献する施設

集約化により発電効率を高め、余剰電力の売電によりコスト削減に貢献する施設整備を図ります。

鳥取県西部の5つの可燃ごみ処理施設と2つの不燃ごみ処理施設を1箇所に集約します

現在の
処理体制



新しい
処理体制



広域化・集約化

施設を集約するメリット

施設を1箇所に集約し、効率的に処理することで、処理コストの削減、二酸化炭素排出量の削減が可能です。

20年間で最大約60億円のごみ処理コストを削減

年間約2千トンのCO₂を削減

施設の一体的整備

- 処理の効率化や経済性の観点から、可燃ごみ及び不燃ごみ処理施設は一体的整備をめざします。
- 一般廃棄物最終処分場も効率的な処理の推進から、同一敷地内又は近隣での設置をめざします。

基本構想はこちら▶▶▶

